

会議の開催結果

1 会議名	新居浜市端出場温泉保養センター検討委員会
2 開催日時	平成22年10月4日（月） 13時30分から15時30分まで
3 開催場所	市役所3階応接会議室
4 会議の概要	<p>会の公開・非公開の決定 副市長あいさつ 委員長・副委員長の選出</p> <p>1（1）端出場温泉保養センターの概要（事務局説明） （2）端出場温泉保養センターの目的（事務局説明） （1）・（2）について質疑応答 （3）端出場温泉保養センターの現状（事務局説明） （3）について質疑応答</p> <p>2 端出場温泉保養センターの今後の方向性について（新居浜市委員説明）</p>
5 公開（全部・部分）・非公開の別	公開
6 部分公開又は非公開の理由	
7 傍聴人数	4名
8 問い合わせ先	<p>経済部運輸観光課 （電話）65-1261（内線）2482</p>
9 その他	

議事録

事務局	<p>マスコミ各社の方から傍聴の依頼を受けておりますが入室いただいてよろしいでしょうか。</p>
委員 事務局	<p>異議なし</p> <p>それでは、ただいまから端出場温泉保養センター検討委員会を開催させていただきます。なお、白石委員さんは、ご都合により欠席というご連絡をいただいておりますのでお知らせいたします。</p> <p>なお、本日の会は、第1回目の会でありますので委員長が決まりますまで、事務局の方で進めさせていただきます。</p>
副市長	<p>まず、副市長よりごあいさつを申し上げます。</p> <p>本日は、佐々木市長がご挨拶するところでございますが、あいにく公務で松山の方の会に行っておりますので、私の方から挨拶を申し上げます。皆様には、端出場温泉保養センター検討委員会の委員をお願いしましたところ、ご多忙にもかかわらず、快くお引き受けくださりまして、まことにありがとうございます。</p> <p>また、平素から本市の観光行政に格別のご理解とご協力を賜っておりますことに対しましてこの場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、端出場温泉保養センターにつきましては、本年3月の施政方針におきまして、市長から「施設の老朽化が進み、財政負担の増加も招いている端出場温泉保養センターの運営につきましては、施設自体の有用性を検討し、今後の方向性を決定してまいります。」と、また、本年の6月議会の一般質問では、「温泉施設としての役割については、さまざまなご意見を伺わなくてはなりません、重大な決断をしなければならない時期がきたと考えております。」と、答弁しております。</p> <p>その後マスコミ等の報道を通じまして、市民の方、受益者の方には、端出場温泉保養センターに関しまして、大変ご心配をおかけしておるところでございます。</p> <p>このようなことから、市長が端出場温泉保養センターのあり方について、今後の判断とするための材料とするため、今回関係団体、関係者ならびに利用者の皆様にお集まりいただきまして、ご意見をいただければということで、当委員会を設置させていただくことになった次第でございます。</p> <p>委員の皆様には、それぞれの立場から、忌憚のないご意見を頂戴いただければと存じます。なお、会議の開催にあたりまして、改めて、現状における市の考えを明らかにしたいと考えております、この後、ご説明をいたしますが、端出場温泉保養センターの現状を踏まえますと、存続は極めて困難であり、廃止もやむを得ないというふうなことも考えております。</p> <p>いずれにしましても、皆様方のご意見をお伺いしました中で、市としての最終判断を行ってまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>最後になりますが、委員の皆様はそれぞれ大変お忙しいと思いますが、円滑に会が進められ、最終的に報告がとりまとめられることを祈念しまして、はなはだ簡単ではございます</p>

事務局	が、私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございます。副市長は、別の公務が入っておりますので、ここで退席させていただきます。
副市長	よろしくお願いいたします。(退席)
事務局	それでは、委員の皆様には、初めての方もいらっしゃると思いますので、互いの自己紹介から始めさせていただきたいと思います。それでは加藤専務様から左に順によろしくお願いいたします。
委員・事務局	(自己紹介・・・団体名・氏名)
事務局	それでは、本委員会設置要綱第5条の規定に基づきまして、委員長の互選を行います。どなたがよろしいでしょうか。
委員	事務局一任。
事務局	ただいま、事務局一任との声がありましたので、事務局からご指名させていただいてよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
事務局	ご異議がないようなので、新居浜市観光協会の畑田会長にお願いしたいと思います。ご承認させていただいてよろしいでしょうか。
	(拍手)
事務局	畑田会長さん委員長席にお移りください。
	それでは、畑田委員長ご挨拶をよろしくお願いいたします。
委員長	みなさんこんにちは。先ほどは副市長さんの方からご挨拶がありましたとおり、本委員会は、端出場温泉保養センターの今後のあり方について検討するために設置された会です。このようなことから、市内各界を代表するお立場の皆さんにご出席いただきまして、私は大役の委員長というのを仰せつかりまして、なかなか大変だなと感じておる次第でございます。委員の皆様には、この機会に、貴重なご意見をいただきますようお願い申し上げます。なお、本委員会の運営におきましては、お互いの意見を尊重し、建設的な運営をしてまいりたいと考えております。本委員会の円滑な運営にご努力をお願い申し上げまして簡単でございますが、私の委員長就任のご挨拶にさせていただきます。よろしくお願いいたします。
事務局	これより、議事進行は、畑田委員長にお願いいたします。
委員長	座って議事進行させていただきます。それでは、副委員長の互選を行いたいと思いますが、どなたがよろしゅうございますか。
委員	委員長一任
委員長	ただいま委員長一任との声がありましたので、私の方から指名させていただいてよろしいでしょうか。
委員	異議なし
委員長	異議なしとの声をいただきましてありがとうございます。ご異議がございませんようなので、副委員長には、新居浜市女性連合協議会の加藤様にお願いしたいと思います。よ

委員	ろしくお願いいたします。皆様ご承認いただけますでしょうか。
委員長	(拍手) それでは、会議に入ります前に、新居浜市市議会等の公開に関する要綱、この要綱に基づきまして、本委員会の公開・非公開についてお諮りいたしたいと思います。会議につきましては、原則といたしまして、公開するものとされておりますがいかがでしょうか。よろしゅうございますか。
委員長	(拍手) 異議がないようですので、本委員会の会議につきましては、公開として取り扱わせていただきます。
	それでは、本日お配りいたしております、次第の第4、議事の内容につきまして、会議を進めさせていただきます。進め方といたしましては、まず事務局から説明をいただきますが、1の端出場温泉保養センターについての概要、2端出場温泉保養センターの目的をひと通り説明いただいた後、説明内容に対するご質問をいただきます。その後、端出場温泉保養センターの現状についてまた、事務局から説明を受け、ご質問をいただくというように分けて進めさせていただきますと思います。
	なお、事務局からの説明に入ります前に申し上げますが、時間の都合上、本日の委員会は、事務局の説明とそれに対する質問、ならびに新居浜市の考え方をご説明いただくまでとします。委員の皆様のご意見といたしましては、新居浜市の考え方というものを一旦持ち帰りいただきまして、じっくりとご自身のご意見やお考えをまとめていただき、次回の会議におきまして、ご発言いただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
	それではまず、1番目の端出場温泉保養センターについてを議題といたします。
	まず事務局より、説明をお願いいたします。
事務局	それでは、事務局からご説明を申し上げます。 (以下説明 1(1)・(2))
委員長	ただいま端出場温泉保養センターについての1の概要と2の目的についての説明がございましたが、ご質問等ございませんでしょうか。
委員	はい。南部開発の基本方針があったんですけど、今もこの南部開発基本方針は最終的に基本構想は生きてるんですか。
事務局	南部観光開発のレクリエーションについては、現在も続けております。
委員長	8ページですね。
委員	昭和60年3月。
委員長	現在もこのまま方針は続いている。
事務局	当時の計画は、東平にロープウェイをつなぐとかですね、そういった全体計画として南部観光開発レクリエーション計画はまとめられております。当時東平につきましては、新居浜市が先行する形で資料館を建設した形のまま現在止まっております。また、計画自体は、南部観光開発として南部地域をどういうふうの開発していくかということについては、基本計画としそのまま生きているものと理解しております。

委員	<p>ちょっとだけ教えてほしいのは、こういう基本計画は、生きているにかかわらず、廃止してないのなら、基本計画そのものをできるところは変えていって最終的にはこうなるというふうに基本構想はなるべきじゃないですか。例えば、こういうところで、審議して出すのか。それとも先に市が基本計画するのかわからないけど、時間的にずれとるような気がするのですが。</p>
委員長	<p>ただいまのご質問についてですけれども、本日のところは、一応概要ということになってますんで、その後の問題についてはですね次回の時にご意見をお伺いしたいんですが。他にありませんか。</p>
委員	<p>保養センターの性格ですが、10ページ、市民向けの施設と書いてあるが、11ページになりますと、観光客向けの施設と位置づけと書いていますが、ここらあたりは、どちらになるのか。</p>
事務局	<p>当初の考え方からすると、11ページは観光客向けの施設として当初はそのように料金設定をしたということで、現在は、ご案内のように市民の利用が非常に多くなっていますので、利用実態から見ますと、この構図が崩れているというご指摘もやむを得ないのが実態でございます。ただ、当初のマイントピア別子という観光地に設置した公の施設という意味合いから、端出場温泉保養センターについては、当初は市民向けの施設よりも、観光客向けの性格の方が強かったと説明申し上げました。</p>
委員	<p>それからもう一つ。これから先に入ると思うんですけど、9ページの第3セクター方式を前提とした行政・民間サイドの役割分担を検討していると書いておりますが、その時にですね、事業の採算性の検討では、第3セクターの資金力が少ない場合には、公共の投資をするというようなことも書いておりますね。後から説明があらうかと思いますが、今後の考えとして、委員長が言われるのは、持ってかえて自分で考えてくるという話になるということで、これから、運営とか話があるかと思いますが、今現在第3セクターで採算がとれて十分に行政と対等にできて料金の設定とか後から出てくるんですか。</p>
委員長	<p>引き続き端出場温泉保養センターの現状というところで、ご質問にお答えできるのではなからうかと思えます。とりあえず、今のところは、概要と目的ということなんですが、他にご意見はありませんか。そしたら、ご意見がないようですので、引き続き、3番目の端出場温泉保養センターの現状につきまして、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料に伴って説明をしたいと思えます。</p> <p>(以下説明 1(3))</p>
委員長	<p>事務局からの説明がありましたが、非常に端折って分かりにくいところも多々あるかと思えますが、色々ご質問をいただいて納得のいくことにしてお帰りいただいて色々検討していただきたいということでございますが、ご質問かまいませんか。</p>
委員	<p>課長に一つだけ聞きたいのは、例えば、この資料を作るじゃないですか。担当部署として。この資料作った時に率直な感想を、例えば、これ大変だとか、こんなに赤字が続いてるとか、率直な意見が聞きたいのと、これから説明の中で、温泉施設の利用者を観光施設と結びつけて、観光客がいて、その人達が日帰りで立ち寄らないというのか、それとも市民の</p>

	<p>保養施設として、位置づけているなら市民の利用客を増やす目的で、観光客を増やのが目的ではないと思うんです。観光客が目的ならそれなりの、今ツアーがあるんだったら、ツアーを組替えていかななくてはいけないと思うんです。そこら辺の位置づけをどういうふうにしているのかというのが一つと、それと、これだけ赤字がずっと拡大してきたと、今1億何千万の赤字があって、それが大変というなら、大変というのをいつ気づいて、気づいた時点で何かの努力をどういうふうにしたか。ここで集客努力をしたと書いているが、私は温泉が好きでほとんど毎日通っているが、例えば内部の施設とかサービスとかの改善をして変えていったかなという印象があまりないので、その辺のどういうふうにして赤字が1億何千万の認識があった時に、たぶん企業だったら、これだけの赤字が出た時に、もう必死になると思うんです。僕の会社だったら、ほんとに1カ月でつぶれますよ。それが、ごくごく自然とここまで流されてきて、どうにもならんと、どうにもならんから廃止も含めて検討しなければならないという状況まで、どこまでこういうふうな事態になってきたかという説明が欲しい。</p>
委員長	<p>ということなのですが、次回の検討のご意見もずいぶん入っていると思うんですけど、事務局から簡単にご説明はできませんか。</p>
事務局	<p>そうしましたら、まず、資料を作った時の感想がまず一点目だったんですが、建設当初は、比較的一財の持ち出しが少ない。あと利用客が少ないということで一般財源を投入ということは、大変なことであるということは、認識している。二点目として、観光客への対応、日帰りで温泉に入っていたかどうかということも必要ではないかというお話でございまして、先ほども申し上げましたとおり、日帰りに関する考え方が変わってきている。のんびり温泉に入るという方と、見て回るという方、東平なんかは、特に見て回るという立ち寄り観光になるんじゃないかなと思っています。あと、ツアーとしては、東平を見た後に他の温泉施設に宿泊するという設定がされているので、なかなかお昼に温泉に入っていたのは難しいのかなと思っています。それと、どういった努力をしたかということで、先ほどこれまでの取り組みの説明をさせていただいたんですが、それが十分であったかということ、なかなかそうとは言えないというところはあるんじゃないかなと思っています。</p>
委員長	<p>今、簡単に説明していただいたんですが、先ほどの内容につきましては、次回の時にじっくり、何でここまでこうだったのかとか、今後どういうふうを考えているのかとかいうようなご意見をまとめていただいたらもっといいんじゃないかなと思うんですが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>次回の検討課題にさせていただきたいと思いますので、今日は説明だけ聞いて帰りたいと思います。</p>
委員	<p>14ページの中で、基本的に当初の設置された趣旨から考えますと、観光客向けの施設であることからスタートしたと説明があった中でですね、14ページにある21年度の利用者の内訳で、いわゆる観光客の方がこの温泉施設を利用したと思われる割合というのは事務局で把握しておれば教えていただきたいと思います。それとどの区分を合計すればそういった割合になるか、人数と割合を教えてくださいたいと思います。</p>
事務局	<p>明らかに観光客の方が利用されるという区分が、団体券それとセット券と鉾山観光と砂金</p>

	採りがセットになっておるもの、それとあと特割券というのはおそらく観光客だろうと思われま。これを足すと7, 340人、4.3%でございますけれども、残りの一般券47, 644人という実績なんですけれども、これは市民の方も含まれておりますし、市外から来た観光客の方も当然含まれてます。データとして、どこまでが市外からというような資料の方は残っておりませんので、この中にも含まれているのは分かるんですけども具体的な数字っていうのはちょっと把握できておりません。
委員	それと25ページで大規模なリニューアルが必要というようなことを書かれておるんですけども、やはり今後の大規模なリニューアルを行うことになれば建設当時の2億4千万円というのがひとつの目安になるということなんでしょうか。
事務局	そうです。温泉施設の建設当初に2億4千万でしたので、どういったリニューアルの形にするかにもよるんですけどもそれくらいは必要になるのではないかと考えております。
委員	それと27ページのですね、平成3年にできた時にこの端出場温泉以外で民間も含めて、俗に言う温泉というかそういうような施設がこの当時新居浜市内にはあったんですかね。わかる範囲内で教えてください。
事務局	リーガロイヤルホテルにリーガアクアガーデンというのが平成2年に開設されております。それ以外には、今治のクアハウスであるとか、今治の健康ランド、伊予鉄健康ランド、松前町の元気人村っていうあたりが市外の施設としては先行しておりました。
委員	ひとつだけですけども、当初作る時からこの25ページの2番とか3番という費用ですね、臨時的に発生する費用、リニューアルをする場合の費用、こういう温泉といいますか施設は何年かしたらこれくらいのお金がかかるというのはほぼわかっているやり始めた事業なんですよ。
事務局	当然施設ですので、維持管理経費・修繕というのは当然かかってまいります。メンテナンスについては、端出場温泉整備事業という中で施設を維持していくために行っております。それとあと施設には耐用年数というのがありますので、何年かに一回は更新なども行っております。ただ、施設全体の耐用年数ということでありまして、ポンプなどは比較的短いんですけどもサウナでありますと10年から15年ということも言われておりますので、その辺のところはサイクルの中で更新が必要になってくるということは当然建設当初から考えていたことでもあります。
委員長	毎年の修理コストという点については、比較的簡単に思いつくんですけども、何年かに一度の温泉施設の大型改装といいますか、そこについてはちょっとなかなか思いつきにくいということも多少はあるのではないかなと私は思うんですが。まあそういうことでもありますので。
委員	19ページの、会員使用料8, 334, 350円の中で、14ページで会員の区分に入ってくるんでしょうかね、実際に会員使用料の1回100円を払った延べ人員というのは84, 653人のうちのどれくらいの割合を占めておるんでしょうか。
事務局	延べが84, 653人のところでしょうか。一人の会員の方が、何回くらい入ったかというのはまた別になるんですけども、延べで84, 653人になるんです。これは大人だけなので幼児の方が入ったらカウントされていないものです。

委員	そうすると一人あたりが何十回くらい入っているのかというのは16ページで平成21年度387人というものを逆算すれば84,653人を387で割れば単純に一人当たりの年間利用回数が分かるということの理解で正しいでしょうか。
事務局	会員の年間の利用回数のお尋ねということでありましたら、この資料からはなかなか導き出せませんので、別途確認をしております。1年以上継続して会員の期間をいただいている方の温泉の年間の利用回数になりますと、口頭で申し訳ございません。だいたい50回きざみでトータルで323人をつかまえています。1～50回までの方が7人、51回～100回までの方が20人、101回～150回までの方が39人、151回～200回までの方が45人、201回～250回までの方が53人、251回～300回までの方が81人、301回～350回までの方が74人、351回超える方がその他4人いらっしゃいます。という内訳になっております。
委員	350日以上超えることあるん。
事務局	1日2回来られる方もいらっしゃると思うんです。朝・晩。
委員長	それの中で、我々が思うんでは、観光客とか近隣の会員以外のそういう人達が利用したのは、何人くらい利用したかというのは、分かりませんか。
事務局	観光客が利用した数ですか。
委員長	観光客とかあるいは会員以外の方が何人くらい利用しよんか。その状況。
委員	14ページに書いています。14ページ。平成21年度の温泉施設利用者内訳。
事務局	14ページの内の団体・セット券とか特割とかが観光客の方が主に利用していただいています。一般の中には、市民の方も観光客の方も含まれていますので、観光客だけをより出すのは、困難であるということで答えさせていただきました。
委員	すみません。委員長。再々私が言いまして申し訳ありませんが。 16ページの上部地区304人の大まかに何々町というのが分かれば教えていただきたいと思います。例えば、中萩であるとか中筋であるとか立川であるとか、差し支えない範囲内で町名で人員割でつかんでおられたら上部地区の町名で教えていただけますか。地区名と会員者数。
事務局	そこまで細かいデータは把握しておりませんので、次回ご用意させていただきたいと思えます。よろしくお願ひします。
委員	次回意見を述べないかんで、次回までにデータを各委員さんに情報提供をしていただけますか。お願ひいたします。
事務局	はい。
委員長	それでは、そういうことで、よろしくお願ひいたします。他に何かご質問ありますか。
委員	聞きたい所は、みなさん聞いていただいたんですけど、そんなに直接関係ないと思ったんですけど、目的ですかね、これが造られた目的の中に、福祉がちょっと入ったと思うんです。それは、福祉の料金を抑えることなのか、他に何か政策があったのかなというのを聞きたい。 7ページの市民の健康の増進と福祉の向上というところで、福祉の向上というのは、利用料のところでは、少し安くなっているという説明があったんですけど、それ以外に何かさ

事務局	<p>れてたことがあったのかなと思って。</p> <p>端出場温泉保養センターというのは、市の直営の施設という位置づけをさせていただいています。地方公共団体の目的というのが、福祉の向上、健康の増進ということが大前提ですから、端出場温泉保養センターにつきましても、市民の健康の増進と福祉の向上ということを目的に掲げております。ただ、先程も申しましたとおり、設置の経緯からいたしますと、観光客向けの施設という設置目的も持ち合わせているということでございます。</p>
委員	<p>補足だけさせてもらったと思うんですが、私も来て4年になるんですけど、温泉客が減少しているということで、観光客もそうなんです、かなり営業に力を入れてやってきました。19年度から毎年減りよったのがですね、右肩上がりが増えていきよります。温泉の方もですね、実はリーガさんなくなるということで、なくなった時の会員さんをマイントピアに誘致できんかということで、全世帯に配布できるパンフレットをですね、2回配りました。そして、新規会員になっていただいた方に、バーベキューの無料券を差し上げますということで、経費を50万ぐらい使ったと思いますが、実績は、17名くらいしか、増えなかったですね。かなり努力はしていったんですけど、まあ、そういうことで、増えなかったですね、観光客については、もちろん・・・温泉にも入ってくださいねと言っているんですが、泊まるところが、温泉地なんで、一泊のお客はほとんど途中では入らないということと、日帰りのツアーでもですね、一度JTBさんで300円という金額で提示した時に、一旦はうちになっとんたんですけど、●●●さんが100円で入れたということで、かなりよそは、料金を下げて対応しようということですね、なかなか温泉客については、努力してもとりにくいという現状があります。とりあえず、報告だけしておきます。ありがとうございました。みなさん色々ご意見をお伺いしたんですが。</p>
委員	<p>宿題でお願いしたいんですけど、ずっと赤字が続いとると思うんです。赤字だったら、新居浜市の財源として、どのくらいの赤字ならやっていけるのか。もちろん、これからリニューアルとかいろいろかかるんだと思うんだけど、僕みんなに聞かれとんで、答えないかんで、どのくらいならね、新居浜市として保養施設としてやっていけるのか。後もう一つは、赤字の内訳ですよ。これね大きく人件費とか、あるいは燃料費とか、人件費のかかった内訳を教えてくださいたいですね。みなさんに説明せないかん。</p>
委員	<p>事務局ではお答えしにくいと思うんですけど、赤字の内訳については、明細出せると思うんです。しかしながら、いくらまでだったら、市は赤字に耐えられるんかということは、今ところ第五次長期総合計画が23年度を初年度として始まります。具体的な財源の中で、10ヵ年で、どれだけお金がいるのか知らないのか、どこを精査するのか。今のところ私どもが、このまま継続していくと、数十億円の赤字が出ていく全体計画は分かります。だから、その中で、調整して行って、マイントピアだったら1億円でかまんとかいうことはね、全庁的な議論の中で決めるので、今、この会の中で11月までに結論が出るか分かりませんが、そこだけは少し出せないかもしれません。</p>
委員長	<p>今日は後ですね、市当局からその後の方向性を今から説明をしていただきたいと思いますが、ご質問とか、これまでのところ、よろしゅうございますか。</p>
委員	<p>温泉施設を利用した人が、マイントピア別子の活性化に貢献しているというような事例が</p>

委員長	あれば教えていただきたいと思います。分かる範囲内で結構です。
委員	これについてはどうでしょうか。
委員長	思い当たらないんですけど。
委員	思い当たりませんか。温泉施設があるために、マイントピアが繁盛するという事例ですね。もしなくなってもたら、お客さんがどっと少なくなるというメリットとデメリットですね。
委員	今年はずんマイントピア別子に50万人近くぐらいお客さん行きますんで、温泉客の割合が去年で言うとも47%ぐらい延べ人員になっとんですよ。今年はずん40%ぐらいまで分母が増えますんで、それぐらいの割合になると思うんですけど、一番心配なのは、賑わいがなくなる。ここはいつもいっぱい車が停まってるねと言ってくれるんで、温泉客がそれだけの割合来てますんで、やっぱり車が停まってない、やっぱり賑わい面となると、寂しくなると言うことですね。それと、温泉で食事されますよね。料飲マイントピアなんですけど、その売上げが60%ぐらいあると思うんですよ。温泉での売上。観光客・一般客の売上げが40%ぐらいだと思うんですけど、その売上げが落ちますよね。テナントさんが非常に大変だなということがあります。温泉客が売店で買ってくれることもありますんで、まあ1割かそこら売上落ちるんかなと。
委員長	温泉があるということのメリットとデメリットがありますよね。よろしゅうございますか。
委員	賑わい・損失に繋がるということですが、主に会員の方が利用されておる時間帯だいたい何時ぐらいなんですかね。
委員	会員の方は、色々なんですけど朝だけ、開くの待ちよる人も、夕方仕事終わってきている方。
委員長	夕方の方は観光客にあまり関係ないですよ。
委員	夕方・・・いや、関係ないことはない。団体客は別として、いわゆる個人客で入る観光客もいますんで、だいたい昼間から夕方にかけて多いと思うんですけどね。
委員	温泉に入る方が食事されるということなんですけど、だいたい午前と仕事終わってからの利用の違い、時間帯に区分すればどういう割合になりますかね。
委員	それは全体ですか。
委員長	曜日とか時間帯とか、アバウトで結構です。
委員	もう、食事は昼と夕方ですよ。多いのはね。最近では、ビールも飲めんようになっとんで、だいたい売上げも落ちとんですけどね。
委員長	だいたい午前中と午後だったらどちらが多いですか。温泉利用した方の食事関係の売上げの比率でいけば。
委員	それは、曜日によっても違うし、だいたい昼の方が多いいと思います。
委員長	昼間の方が多いいんですか。
委員	夕方はどうしても食事済ませて来られる方もいるから。
委員長	はい。ありがとうございました。それでは、時間も押しておりますんで、ただいまのところ経営とみれば赤字が出て、市民のための施設とみれば、補助になるというかですね、色々

経済部長

問題があると思うんですが、それでは、この端出場温泉保養センターの今後の方向性をです、経済部長さんからご説明いただきたいと思います。お願いいたします。

失礼いたします。私の説明は最後のページの29ページになります。只今事務局の方から端出場保養センターの概要であったり、目的であったり現状も説明をさせていただきました。説明にありましたように端出場温泉センターは基本的な設立目的は観光振興が主目的の施設、そしてあわせて市民福祉を増進、寄与する施設ということで、目的等につきましては併用いたしますが最初に立ち戻ればこういった施設でありました。そういったことを踏まえまして、私の方からは端出場温泉保養センターの今後の方向性につきまして、ご説明を申し上げます。

冒頭、副市長からのあいさつの中にもありましたように、温泉保養センターにつきましては、新居浜市の結論ではありませんが廃止もやむを得ないという考え方に立っております。そういう意味も含めまして方向性につきましては私の方から3点、視点は3つほどありますが、観光振興の面から、また、市民福祉の増進の面から、これが施設を作った目的であります。また、最後には財政面、これは新居浜市全体の財政を考えた時に、先ほどの近藤委員さんからのお話にもありましたように、新居浜市として負担ができるのかどうか。こういった3つの面から考察をしておりますので、ご説明をさせていただきます。

まず1番、観光振興の面であります。本当に端出場エリアの観光客誘致に寄与しているのか、寄与してきたのかというようなことではありますが、ここに結論だけを書いております。観光客の利用が極端に書いてありますが、どの数字をもって極端だという声もあるかも知れませんが、一般客とですね推定される数字を見ますと観光客の利用としては少ないのではないかと。いうことであれば魅力ある観光施設としては成立していないのではないかと。いうことでもあります。

これが以下の入場者の大半が市民の利用であると、また、収益施設の売り上げへの貢献が少ない。というふうに考えております。

続きまして、簡単に申し上げます。

市民福祉の増進の面からであります。当初は市民福祉の公の施設として、市民福祉の施設として建てましたが、リーガはその当時ありましたが、パナスであったり民間の施設ができてですね、新居浜市として、行政としてこの施設を担っていく必要があるのか、そういう入浴サービスを新居浜市が提供する必要があるのか、ということをお願いしますと、今は民でできることは民で行っていただきたいという意味を込めて民間に代替施設がある。こういった考え方に立っております。

最後が財政面であります。

新居浜市の今後の財政状況から財政負担が可能なのかどうか、23年度から第5次長期総合計画が開始します。今現在すべての事業において見直しをするということで新たな出発をしようとしております。その中で施策の優先順位、これは私どもの施策と言いますか、事業実施につきましては行政評価というものを取り入れておりまして、市民評価委員会にある一定の評価をしていただいております。そういった中でも温泉施設の評価としては低い評価、それは当然のことながら利用料収入が少ないであるとかですね、いわゆる観光

	<p>客向けの施設としては成り立たないといった総合的な観点からであります。一応評価が低いので見直しをなさいたいのご指摘を受けております。</p> <p>また、先ほど説明をさせていただきましたように施設の修繕に要する費用、平年でありますと2,000万、3,000万当然あります。また、ちょっとした時には大きい時は6,000万ほどのお金を出しております。こういった維持管理費用をですね、すべて使用料で賄えるのかということですね、約7,000万弱の使用料しかありませんので、委託料、維持管理費用については賄えないということでもあります。今後、お客さんが増えるのかということにつきましてもわかりませんが私どもとしては今後も好転が見込めないというふうな判断をいたしております。</p> <p>最後は築後20年がたちまして、先ほど申し上げましたように施設本体はですね、2億4千万ほどのお金をかけて作った施設であります。それをまるっきり改修となりますとおそらく最低でもこれくらいのお金があるだろうということになります。重ねて大規模改修の費用が出せるのかということになりますと、財政負担としては少し厳しいのかなということでありまして、以上申し上げました理由によりまして新居浜市としては端出場温泉保養センター廃止もやむを得ないのではないか、という結論と言いますか、方向性に今のところはなっております。以上大変簡単で申し訳ありませんが私からの説明は終わらせていただきます。以上でございます。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。経済部長さんの方から説明ございましたけども、市の方の面から言いますと、廃止もやむを得ないのではないかというような問題であります。観光振興経営と考えるか福祉と考えるか。それから財政面から先程近藤さんからお話がありましたように、内容についての見直し等とございまして、説明をしていただきましたが、まず、経済部長さんからのご説明でご質問をいただきまして、そして今回はその内容のご質問にいただきまして、それを持ち帰っていただいて、お一人お一人で、それぞれの立場からどうすべきかというご意見を次回に忌憚なく議論していただきたいというふうに感じております。そういうことで、経済部長さんのお話にありました説明に対して、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>はい。部長の説明では、一応廃止はやむを得ないと、廃止せざる方へ行かざるを得ないということによろしいんですね。</p>
経済部長	<p>そのとおりです。</p>
委員	<p>例えば、何かの改善する余地があつて、廃止は回避されるかもわからんということじゃなくて、今の財政状況、新居浜市の経済情勢、色々考えた時に、もう廃止もやむを得ん、廃止の方向に行かざるを得ないという見解でかまわんのですね。</p>
経済部長	<p>はい。</p>
委員長	<p>他にご質問ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>今のでだいたい方向性も出たんですけど、我々としては今後は、ま、次になるのかもしれませんが、ジャマイントピアはどうなるんですかという最終結論にも話は聞かしてもらわないかんと思うんで。</p>
委員長	<p>そういう問題も出てきますね。</p>

委員長 委員	そういうことも十分検討していただいて、ご意見をいただいたらと思いますね、それで、私もね、マイントピアを守る会っていう立場で来て、署名だとか、こういうふうにしたらいんだとか、提案いただいて来とんです。それがまあ、次の会の中でね、廃止に向けてどうしようかという会なら、私来ても意味がないと思うんですよ。だから、この会で委員は辞退したいと思います。
委員長 委員	いやいや、それはですね。 廃止に向かって検討するわけだから、僕らがなんぼ言うたって意見を言う場じゃないと。だから、僕はここでみなさんの意見を頂戴してきて、まとめた意見を発表する会と思うんですよ。だったら僕のおる意味がないんでね、僕はこれでやめさせてもらいます。
委員長	いや、それはですね。ここで検討してこれはどうしてもみんなの総意で福祉の面を重視してですね、ある程度いろんな改善策を講じて続けてもらいたいという意見がでたら、それそれなりに、市当局が検討していただけるんでしょ。
委員	それは、そのための会です。
委員長	そのための会合ですので、そういう意見の方がおられないとですね、会議にならないんで、ま、色々な意見を、もう決定したことではございませんのでね。
委員	決定じゃないですか。
委員	私もこれを見た時に疑問を感じました。と言いますのはね、こうして委員のみなさんを見た時に、いったいこの会は何をするんぞという疑問を感じたんです。結局端出場温泉保養センター検討委員会設置と書いてありますが、反対署名かけよる人もいるんですよね。今、畑田委員長が言われたとおり議論を戦わしてくれという話になろうと思うんですが、なかなか大変なことですよ。そしたらですね、逆に関係ない人が第三者委員会みたいなのを立ち上げてですね、本題の今後どうするかということを検討する方が逆にいいんじゃないのかなという感じがしました。そして市長に諮問してですね、そういう声が市民の声ですよという方が私はいんじゃないかな始め思ったんですよ。その意見を初め言おうと思ったんですが、こんな立ち上げても仕方ないんじゃないかなと思いますね。
委員長	私はですね、今回のこれをみなさんのお話をお伺いしてですね、それを一本にまとめることはできないと思うんですよね。それでですね、それぞれの方の意見をそれぞれの意見として、私は、こういうことになりましたというようなことで、例えば、当事者の方の意見、あるいは近藤委員さんのご意見、色々それをですね、答申させていただいて、そして検討していただくという形でないと、まとまらないと思うんですよね。せっかく皆さんのご意見をお伺いしても、何にもならないと。多数決でいくとかですね、そういうことでは、まとまらないと思うんですよ。
委員	委員長、まとめんかったら、ただ審議するだけですか。
委員長	これは、続行していただきたい理由と意見として色々あると思うんですよ。これ、なかなか難しい問題だと思うんですよ。だから、この中で、色々大半はこうであるけど、こういう意見もあるという返事を答申せな難しいと思うんですよ。
委員	様々な意見が出て、反対か賛成か出るのか出ないのかわかりませんが、はっきり言うんよね。この時に市長に答申した後、市長の意見にまかせるということなんですか。この委員

	<p>会は。市民の意見は届くけど、一本にまとめて、方針はこうですよというのが、私は慣例だと思っただけです。今の委員長の話だったら、さまざまな意見を市長に投げ出して、市長が判断するということがいいんですか。</p>
<p>委員長</p>	<p>私の考えとしては、続行と廃止ですよ。この二つしかないと思うんですよ。福祉か経営かということですよ。それで、福祉についてはこうこういう意見があると、廃止については、こういう意見があると、後はですね、もう市の対処におまかせしとかんかったらですね、私は市長じゃございませんので、意見は出せません。</p>
<p>委員 委員長</p>	<p>わかりました。委員長の、あれに従って次回は出席させていただきます。</p>
<p>委員長</p>	<p>そうですか。いや、みなさんおいでいただかんたんです、会の運営ができないと思うんですよ。難しい問題だと思うんですよ。もう、廃止にする、あるいは継続する、これなかなか複雑な問題でしてね。</p>
<p>委員</p>	<p>福祉はあんまり貢献されていないと思うんですよ。あのマイントピア自体は。私自身の意見ですよ。観光の利点で継続にするか、経営の面で廃止するか、私はこの二点だと思うんですよ。私もマイントピアを利用させていただいて、会員にこそなっておりますが、夫婦で一緒にちょいちょい行くんです。ま、正直な話、近くだから行きよるだけでですね、四国中色々な温泉に行くんですけどね、やっぱり施設をみたら、ちょっとやっぱり残念ながらいかなと思うんですよ。</p>
<p>委員</p>	<p>要綱に基づいて、この検討委員会というのは、保養センターの今後の方向性と方向性に基づいた取り組む内容に関する意見を集約した上で、最大公約数の内容集約して、条件付きならそれをふまえた上で結果を市長に報告すればいいんで。</p>
<p>委員長</p>	<p>そうです。</p>
<p>委員</p>	<p>別にここで委員会です、廃止するだの継続するだのそなな権限はないと思うんです。だから、その方向性なり取り組み内容なり協議した中身を市長に報告すればいいんでね、だから別に結論ありきでいくんじゃないで、要はその協議した結果を市長に報告すればいいんですから。ただ、報告する以上は、意見としてどういった内容になるかは別ですよ。それは条件付きで報告すればいいんですから、結果はどうあれ報告すればいいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>委員長さんが言われるのは分かるんで、この問題は難しいんで、ただ、それはある程度の方向付けをせな僕はいかんと思うんです。じゃないと、こうこうなって、全部市長に出すなんかいうのは、それはこんな委員会開かんでもどこからでも個人的に聞いていったら意見ができることなんで。</p>
<p>委員長</p>	<p>これについてはですね、私が思うのは、福祉か経営かあるいは色々ありますよね。当事者の問題もあります。そんなんもあって、だいたい総数的に継続の場合はこうだと、廃止の場合はこうだと意見があつてですね、できれば60%、ここまですらですね、ちょっといかなので、私も権限があつてやります言うてかまんいうてくれるんなら言うんですけど、ま、そうじゃない皆さんの総意をまとめてですね、皆さんが出席いただいたことも納得いくように、答申したいというふうに思います。</p> <p>そういうことですね、後は、市当局の判断におまかせするしかない、他の道はないと私</p>

<p>委員</p>	<p>は思うんですが。</p> <p>この要綱から見れば、結論出すべきじゃないかなと思いました。それを言いたかったのが一つと、私、マイントピアに10数年関わってきましたが、それで、市民か観光客かと言った時に、観光客での温泉施設は今後も難しいかなと、先程マイントピアの専務がおっしゃっていたとおり、非常に難しいと思うんですよね。よく聞いてみますと、今、東平が非常に多いですね、観光客が。でも、ほとんどお風呂には入りませんよね。これは、宿泊施設でもない限り、観光客に来てもらうのは難しいと思っております。やはり、中に宿泊施設があったらいいのにねというような話もよくお聞きします。市民を主体にしていくのか、観光客を主体にしていくのかそれによって、考え方が随分変わってくると思うんですよね。そこのところも考え直さないといけないと思います。最後に、今後の方針ということで、民は民でできることはというふうに書いておりましたが、まさに私達はそのとおりじゃないかなと思うんですよね。民でできることは、これからは市の財政も非常に少なくなっています。そこで市におんぶに抱っこということは難しいかなと思いますので、民でできることは民で、ですから、市民を相手にするんなら、市民を対象にして、その中で市民がいかに温泉に関わっていけるかということも一緒に考えていかないと議論がなかなか進まないんじゃないかなと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。他にないでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>この会でやめるのかどうするのかの大体の方向性を結論付けるのかなと思ったんだけど、その中でも、廃止となった場合でも、今後をどうするのかとか、言った意見がそのまま通ることはないんですけど、特にこれ、マイントピア別子さんがいったら、市単独の事業だけじゃなくって、ほかに割と関わりがあって、色んなことが重なりあってるんで、女性連合の希望としては、もし、残すことができるなら、残して欲しいっていうのを私達の会では相談してきたんですけど、でも詳しい内容が分からないので、色んな意見も聞かせていただいて、例えば、マイントピア別子さんの意見とか、こういう現状で、こういう方向に進みたいっていうのを聞いたりとか、利用者の方言われましたけど、色んな意見とか出ましたけど、後、市の財政難とか色んな情報をもっともっと教えてほしいなっていうことがあって、知らせていただくことが大事であったりとか、報道の方もいらっやっていますが、それを通して市民の皆さんにも知ってもらって、色んな情報をももらった上で、その上で判断することも大事じゃないかなと思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは最初に、申し上げましたとおりですね、新居浜市の考え方というものに対する委員のみなさんの意見は次回、お一人お一人から十分にいただきたいというふうに思います。先程経済部長さんからの件につきましては、議事録にまとめておりますので、できあがり次第、皆様にお送りさせていただきたいと思います。この中で足らざる資料、不明な事柄がございましたら、事務局で用意いたしますので、お申し付けいただいたらと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>次回の予定につきましては、10月下旬頃の開催を予定しております。</p> <p>それでは皆さん、本当に長時間に渡りまして、色々ご質問等、内容をご理解していただけたのではないかなと思っております。それでは次回。よろしく申し上げます。本日の会議は</p>

委員	これで終わりにさせていただきます。ありがとうございました。 ありがとうございました。
----	---